



豊かな想像力で人を思いやる気持ちを表現

人権ポスターコンクール

9/28

みなかみ町人権教育推進協議会（社会教育委員兼任・会長：角田忠雄）は、町内の小中学生を対象に人権ポスターコンクールを開催し、30作品の応募がありました。表彰式は9月28日に開催された、生涯学習フェスティバルで行われました。12月4日～12月10日は人権週間です。この機会に人権について考えてみませんか。

最優秀賞

▶ 桃野小学校5年 中村青葉



▶ みなかみ中学校1年 片桐千織



優秀賞

▶ 桃野小学校5年 田村妃花琉



▶ 水上小学校4年 クック美亜



▶ 新治小学校4年 塩原美蘭



▶ みなかみ中学校1年 園部一夏



▶ みなかみ中学校2年 長島福良



▶ みなかみ中学校2年 横田理緒





まちの話題

= TOWN TOPICS =



何かがある楽しい3日間

みなかみユネスコエコパークアウトドア感謝祭

9/26(金)～9/28(日)

道の駅水紀行館にて「みなかみユネスコエコパークアウトドア感謝祭」が開催されました。

このイベントは、みなかみユネスコエコパークという「人と自然の共生する環境」を最大限に活かした「アソビ」の魅力を広めていくことをコンセプトとしています。

3日間で様々なアウトドアアクティビティ体験のほか、清掃ラフティング・カヌーツアーなど、自然をまもり、いかし、ひろめる催しが数多く行われました。



●アウトドアアクティビティ体験

通常価格の半額以下の特別料金で行われた、アウトドアアクティビティ体験では、ラフティングやキャニオニングをはじめとした様々なアクティビティが3日間を通して提供されました。手ぶらで会場に訪れても、気軽にツアーに参加できる体制により、ツアー参加者は、会場のテントでウェットスーツに着替え、そのままバスでツアーに出発し、みなかみの大自然を満喫しました。

また、ラフティングやカヌーを楽しみながら、川や湖のごみ拾いをする清掃ツアーでは、紅葉橋から銚子橋の区間で清掃ラフティング、洞元湖で清掃カヌーのイベントが行われました。こどもから大人まで多くの参加者がアウトドアアクティビティを楽しみながら、みなかみ町の自然環境を守る取り組みが行われました。

会場に着替えを済ませてツアーに出発！



前漕ぎゼーの！



まずは受付



ウェットスーツに着替え完了！



ツアーに出発！



安全説明をしっかりと聞き



笑顔でゴール



天然ウォータースライダーを楽しみ



ジップラインでいざ溪谷へ





大勢の来場者にみなかみの特産品を振る舞う



●ハッピーシャワー

夕方と夜の2部制で行われたハッピーシャワーでは、アウトドア連合会のスタッフがワゴン車の上に積まれたラフティングボートに乗り、こども向けのお菓子や町内事業者が提供するバウムクーヘン、生ハムなど、魅力的なみなかみの特産品が振る舞われました。ワゴン車の周りには多くの参加者が集まり、大盛況の催しとなりました。



ちびっこアドベンチャー



●清流公園

利根川沿いの清流公園では、アスレチック体験ができる「ちびっこアドベンチャー」や「サイバーボール」「バギー体験」などワンコインで楽しめる体験が多く提供されました。こどもたちは、自然の中で体を動かし、ガイド付きで安全に「遊び」と「学び」を体験しました。

サイバーボール



シャボン玉体験





まちの話題

= TOWN TOPICS =

●ステージイベント

ステージイベントでは、日本を代表するテーマパークでヨーヨーパフォーマーとして活躍していた佐藤アンドレスさんをはじめ、フライングディスクを犬がキャッチする「ディスクドッグ」の世界選手権で優勝経験を持つ平井俊介さんなど、幅広い分野で活躍する方々のステージショーと体験イベントが行われました。

佐藤アンドレスさん「ヨーヨーパフォーマンスショー」



平井俊介さんとパートナー犬「ゴールドラッシュ」



MINAKAMI TOWN.EXE「フリースロー体験」



石坂広野さん「サクソスライブ」



せきあし「人間紙芝居ライブ」



谷間のゆりフラダンスシスターズ「フラダンスショー」



みなかみ町の名所やアウトドアアクティビティの映像上映





●メイン会場

会場では、こども服や日用品などを無料で譲るエコマーケット、森のかけらストラップのクラフト体験、地元ネイチャーガイドによる写真展のほか、多数のキッチンカーや飲食の出店が行われました。

エコマーケットでは、リユース品を譲り受けた方々が、自然保護活動のための募金箱に「きもち」としてお金を入れ、「いまあるもの」を大切にする活動に取り組んでいました。

賑わう会場



エコマーケット



木片を削りストラップを作る



よく狙って景品ゲット

●花火大会

イベント2日目の夜には、約1,000発の花火が打ち上げられ、会場からは大きな歓声が上がりました。みなかみユネスコエコパークという素晴らしい環境でアウトドアアクティビティができること、またそれを支えるすべての方々への感謝が詰まった大輪の花が利根川上空に打ち上げられました。



運営者メッセージ



飯島拓海さん

僕たちアウトドア連合会は、みなかみ町の自然を活かして自然の良さや水の恩恵、水の恐ろしさ、自然の楽しさや魅力などを伝えていく活動をしています。その中で皆さんと自然への向き合い方を共有できればと思っています。

僕たちはこれからもここみなかみ町で頑張っていくのでぜひ、町外からのお客様だけでなく地元の人たちもこのイベントを機にアウトドアを体験して欲しいです。地元の人たちが自分たちの住んでいるこの町の魅力を知る事で、はじめて町外の人たちにその魅力を伝えられると思っています。

誰か1人の力では無理でも、アウトドア、旅館業、飲食業などいろんな人たちが手を合わせればここみなかみ町はより良いフィールドになります。これからもアウトドア連合会をよろしくお願いします。



写真で見る



まちの話題

= TOWN TOPICS =



世界と戦うみなかみ町民

ブラジリアン柔術で深津佐和子さんが世界大会2位 9/30

町内在住の深津佐和子さんが、ネバダ州ラスベガスで行われたブラジリアン柔術の世界大会で第2位に入賞し、その後、千葉県で行われた世界大会では優勝を果たしました。

深津さんは中学校まで柔道、高校から空手、社会人になり総合格闘技と武術を修め、現在も週に約5回の稽古で鍛錬を積みながら、武術と仕事を両立させています。前回の世界大会挑戦から一つ順位を上げ、今回は見事2位の好成績を収めました。

深津さんは「前回同様、常にチャレンジすることと、自分の技を出すことに集中しました。」と振り返り、今後については「目前に控えるアジア大会での優勝と、所属しているジムでの指導を通してブラジリアン柔術をもっと広めていきたいです。」と意気込みました。



▲深津佐和子さん（左）阿部町長（右）



▲ジムでの指導



(写真：橋本欽也)

▲下から足を使って得意な絞め技の形を作る



(写真：橋本欽也)

▲世界大会の舞台上で勝利！



野球の楽しさ、おもしろさを広める

スポーツ少年団野球チームが体験会を開催 9/15,9/23

月夜野総合グラウンドにおいて、月夜野イーグルスとみなかみドルフィンズ、沼田リトルフェニックスの合同野球体験会が開催されました。

両日合わせて65名の町内小学生・園児とその保護者らが参加し、秋晴れの広がる中、笑顔で野球の楽しさを体験しました。バッティング体験、ボールを使った的当てゲームなど、様々なプログラムを体験した参加者からは「楽しかった」「またやりたい」などの感想があり、野球場はこどもたちの笑顔で溢れました。

主催した3チームは、「野球の楽しさをより多くのこどもたちに知ってもらえたら嬉しい。毎週火・木曜日の18:15～20:15に月夜野総合グラウンドで練習をしているので、見学・体験にも参加してもらいたい。」と意気込みました。



▲ティーバッティング



▲的当てゲーム



▲体験会に参加したこどもたち



まちの話題

= TOWN TOPICS =



約450年前から続く五穀豊穡を願う地域の伝統行事

ヤッサ祭りが開催されました 9/27

小川島地区の伝統行事ヤッサ祭りでは、下帯姿の参加者が「ヤッサ、ヤッサ」と勇ましい掛け声を響かせつつ、神社の社殿をよじ登り、最後には、鈴ひもを引きちぎって豊作を祈願しました。

この祭りは、自然とともに生きてきた暮らしや信仰を今に伝える貴重な地域の伝統行事の一つです。地域の絆が深まり、人と自然とが結びつく一日となりました。



▲「ヤッサ、ヤッサ」の掛け声で社殿によじ登る



包括連携協定を契機に協力体制を構築

明治安田生命が町へ寄附 10/23

生命保険などの保険商品を取り扱う明治安田生命相互保険会社より、562,497円を寄附していただきました。今回の寄附金は、同社社員からの「私の地元応援募金」と同社からの寄附金を合わせたものです。

同社と町は、令和7年6月に町民サービス向上や地域活性化に向けた包括連携協定を締結しました。今後も協働により協力体制を強めていきます。



▲斉藤耕一沼田営業所長（左）、阿部町長（右）

芝洋二郎の

みなかみアクトディスカバリー

#1 みなかみの自然を体験できる水族館「水産学習館」

このコーナーは、みなかみ町の水生生物を紹介しながら、水環境や水辺の自然の豊かさを感じていただく不定期連載コーナーです。

筆者（芝洋二郎）は「道の駅 みなかみ水紀行館」に、令和6年6月から地域おこし協力隊として赴任しました。現在、道の駅に併設された「水産学習館」担当スタッフとして、施設の魅力度アップなどに取り組んでいます。

水産学習館は、地元民や観光客など、多くの方々に愛されてきました。現在は「みなかみ・群馬県・利根川霞ヶ浦水系の水辺の生き物の展示を通して、みなかみの水環境や水の自然を紹介する」というコンセプトのもと、町内の水生生物の調査・収集・展示をおこなっています。このコーナーでは、それらの取り組みを中心にお話をしていきたいと考えています。

※写真提供：自然体験型1棟貸切宿 animal lodge



▲体験型展示で記憶に残るイベントを充実中！



▲全国でも珍しい淡水魚のトンネル水槽



地域おこし協力隊の活動

MINAKAMI TOWN. EXE 新保 圭都 さん

皆さんこんにちは。3人制プロバスケットボールチーム“MINAKAMI TOWN. EXE”の新保圭都です。青森県出身で、小学校4年生のときにバスケットボールを始め、現在まで続けています。今年度からみなかみ町に移住し、地域おこし協力隊として活動しております。

4月から総合型地域スポーツクラブのバスケットボールスクールとフィジカルスクールのコーチを担当しています。毎日のようにこどもたちと活動し、その元気と明るさをもらいながら自分自身、多くの気づきを得ることができ、とても充実した毎日を送ることができています。

また、プロバスケットボール選手としてはリーグトップレベルのチームに加入させていただき、自分の課題と必死に向き合う毎日です。自分の強みを最大限発揮し、チームの勝利に貢献できる選手を目指して日々努力を重ねていこうと思います。

スポーツを通してみなかみ町を盛り上げるため、自分自身、日々勉強して成長し、積極的に様々なことに挑戦していきます！そして、みなかみ町に元気を与えられるように尽力していきます！



▲ホームゲーム優勝！チームで記念撮影



▲シュートの瞬間

まちづくり協議会だより 第77号

問 まちづくり協議会事務局（企画課）

0278（25）5030

故郷の自然風景づくり事業～里山の風景に彩りを添えて～

故郷の自然風景づくり事業では、新巻区花畑の管理を区に呼びかけ、総勢95名からなる大峰会のメンバーから常時30名以上が参加し、植栽や管理などの活動を行っています。約50アールの畑はモギトーレからたくみの里の動線にあり、畑一面に植えられたチューリップやケイトウを写真に収めようと足を止める町内外の方で賑わっています。



▲チューリップ畑からの眺望

また、定期的に手入れを行うことで景観が良くなるだけでなく、鳥獣の出没も少なくなり、小学生の通学路の安全確保にも一役を担っています。これからも皆さまの理解と協力を得ながら、補植や花畑のレイアウトにも力を入れていきたいと思っています。

新治支部 大坪 幸雄



▲まちづくり協議会新治支部の皆さん